

令和元年度事業報告書

公益財団法人 但馬ふるさとづくり協会

I 新しい但馬づくりを担う人材等の育成に関する事業

但馬の多彩な魅力を再認識、再発見することにより、新しい但馬づくりを担う人材を育成するため、次の事業を行った。

1 但馬ふるさとづくり大学事業

但馬の自然・歴史・文化など多様な地域資源を活かした地域づくりの学習を通して、新しい但馬づくりの担い手を育成することを目的に13講座を実施した。

また、地域づくりの現場を巡る現地講座を実施した。

- ① 期 間 令和元年5月11日開講・11月2日閉講
- ② 会 場 県立但馬長寿の郷、豊岡市民会館など
- ③ 受講者数 89名 ※修了者51名（10講座以上出席者）
- ④ 講座内容 8日間13講座（現地講座含む）

| 開催日 | 内 容 |
|-------------|--|
| 5/11 (土) | <開講式> ①小さなまちの地元企業が但馬を盛り上げる～歌と映画と武将とおばあかふえ～ 講師 久村 謙藏 氏 (株但馬寿常務取締役) |
| 7/6 (土) | <現地講座> 朝来市生野町 ②③生野の町並みを生かした地域づくりと地域文化の復興 講師 小島 公明 氏 (いくの地域自治協議会事務局長) 案内 口銀谷の町並み案内人 |
| 8/17 (土) | <特別講座> 但馬文教府第52回夏期大学 ④信頼しよう、任せよう～梨田流コミュニケーション術～ 講師 梨田 昌孝 氏 (東北楽天ゴールデンイーグルス前監督) ⑤脚本家の視点から～ドラマの取材を通して思うこと～ 講師 中園 ミホ 氏 (脚本家) |
| 8/31 (土) | <たじま・まちづくりカフェ>～身近なまちづくりを考える～ アドバイザー：山室 敦嗣 氏 (兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科教授) ⑥事例報告：地域資源を活かした新旧住民の融合～豊岡市福田地区を事例に～ 発表者：西垣 義嗣 氏 (FMジャングルパーソナリティ) ⑦事例報告：新しいコミュニティのこれからを考える～朝来市東河地区協議会をヒントに～ 発表者：梶本 陽介 氏 (朝来市職員) |
| 9/29 (日) | ⑧第14回但馬検定試験 |

| | |
|--------------|--|
| 10/5 (土) | ⑨イベントが生み出す地域との交流 講師 田尻 茜 氏・河田 愛 氏 (香美町地域おこし協力隊) ⑩楽しくなければ闘わない～三階建養蚕住宅に集う人たち～ 講師 和田 祐之 氏 (おおや村役場の会会員) |
| 10/19 (土) | <現地講座> 豊岡市竹野町 ⑪⑫竹野港海町マーケット&川湊まちあるき体験 講師 永田 兼彦 氏 (竹野漁協竹野支所運営協議会) 講師 青山 治重 氏 (たけの観光協会会長) |
| 11/2 (土) | ⑬日本遺産「北前船寄港地・船主集落」を通じた地域の活性化 講師 新古 雅紀 氏 (諸寄歴史と文化の薫るまちづくり委員会事務局長) <閉講式> |



(朝来市生野町：現地講座)



(豊岡市竹野町：現地講座)

2 未来を担う人材育成事業

(1) たじまお仕事探検隊

但馬の将来を担う子どもたちに、但馬の産業や優れた技術を持つ企業等について学ぶ機会を提供することにより、地元への愛着や誇りに思う心をはぐくみ、また、将来的に但馬で就職するきっかけづくりを目的として実施した。

| 開催日 | 内 容 |
|-------------|--|
| 7/20 (土) | 「豊岡かばんのお仕事を学ぶ」 場 所 トヨオカカバンアルチザンアベニュー、(株)羽倉 (豊岡市) など 参加人員 15名 (小学校4～6年) 内 容 豊岡鞆の歴史・仕事の話、カバンストリート・鞆職人養成スクール・鞆工場の見学、ミニチュアランドセル作製など |
| 8/7 (水) | 「測量のお仕事を学ぶ」 場 所 (株)オーシスマップ (養父市) 参加人員 15名 (小学校4～6年) 内 容 測量の仕事の話、ドローンなどの最新機器の見学、歩測による測量体験、ドローンシュミレーターの操作体験など |

| | |
|-------------|--|
| 8/19 (月) | 「湯村の旅館・観光のお仕事を学ぶ」 場所 朝野家、湯村温泉観光協会（新温泉町） 参加人員 15名（小学校4～6年） 内容 旅館の仕事の話、おもてなしの心を学ぶ、客室準備体験、湯村温泉で観光客に楽しんでもらう仕掛けの体験など |
|-------------|--|



(豊岡かばんのお仕事を学ぶ)



(測量のお仕事を学ぶ)



(旅館・観光のお仕事を学ぶ)

(2) 高校生特派員等養成事業

高校生が自身の携わっている地域活動をより魅力的に発信できるよう、魅力を発見する力、表現する力を身に着けた人材の育成に努めた。

また、情報発信の場として、ウェブサイト「但馬情報特急」のふるさと特派員コーナーを活用した。

(村岡高校4投稿、和田山高校1投稿)



(情報発信出前講座)

3 但馬検定事業

(1) 第14回但馬検定の実施

但馬の自然・歴史・文化などを幅広く楽しく学ぶことで、地域の魅力を再発見し、但馬内外へその魅力を発信するとともに、但馬を訪れる人々に対するおもてなしの向上につなげることを目的に実施した。

① 試験日 令和元年9月29日(日)

② 試験場所 県立但馬長寿の郷

③ 試験結果

() 前回結果

| 問題 100 問 100 点満点 | 上級の部 (1 級・2 級共通) | | 初級の部 | 計 |
|---------------------|------------------|--------------|--------------|--------------|
| | 1 級(80 点合格) | 2 級(60 点合格) | 3 級(70 点合格) | |
| 受検者数 | 5 5 人(52 人) | 2 9 人(30 人) | 5 8 人(101 人) | 142 人(183 人) |
| 合格者数 | 2 1 人(6 人) | 2 5 人(9 人) | 3 9 人(66 人) | 85 人(81 人) |
| 合格 率 | 38.2%(11.5%) | 86.2%(30.0%) | 67.2%(65.3%) | 59.9%(44.3%) |
| 平均 点 | 7 6 . 5 点 | 7 2 . 1 点 | 7 5 . 1 点 | |
| 最高 点 | 9 5 点 | 9 0 点 | 9 6 点 | |
| 最年少合格者 | 38 歳 (37 歳) | 29 歳 (26 歳) | 14 歳 (20 歳) | |
| 最高齢合格者 | 75 歳 (70 歳) | 76 歳 (72 歳) | 73 歳 (76 歳) | |

④ 特 徴

- ・ 1級試験で、今回から記述問題 10 問を廃止し、問題数を 80 問から 100 問に増やし、合格ラインを正解率 88%から 80%に変更した結果、合格率が大幅に上昇。
- ・ 2級試験で、今回から 1級試験と同じ問題とし、合格ラインを正解率 75%から 60%に変更した結果、合格率が大幅に上昇。
- ・ 3級試験で、第 1 回の 11 歳、第 3 回の 13 歳に次ぐ、14 歳での合格者が誕生。
- ・ 但馬検定を楽しんでいただく新企画として、3 級を初級の部、1・2 級を上級の部に区分し「個人戦」と 3 人 1 組の「チーム戦」を実施。



(検定試験会場)

(2) 検定PR事業

但馬検定をPRするため、出前講座を実施するとともに、検定に向けた学習ポイントの解説を行った。

また、事前講習会を開催して但馬検定への受検意欲を高めた。

① ミニ検定講座

令和元年 5 月 28 日 但馬文教府みてやま学園大学院において実施

② 事前講習会

令和元年 8 月 31 日 但馬長寿の郷において実施 (参加者数: 73 名)

令和元年 9 月 4 日 豊岡稽古堂において実施 (参加者数: 42 名)

(3) 但馬事典「ザ・たじま」の改訂

現行の「ザ・たじま」を発行してから 3 年が経過することから、掲載内容を更新し、改訂版を発行した。(発行部数 1,000 部)

(4) ウェブサイト「ザ・たじま」の作成

子どもを含めた幅広い世代が但馬の地域情報に楽しみながら触れる機会として、「ザ・たじま」のウェブサイトを作成した。

- ① 小中学生でも楽しく取り組める地域クイズコーナー
- ② 但馬検定模擬試験の体験コーナー
- ③ 但馬事典「ザ・たじま」2019 年版のウェブ化

II 交流促進による新しい但馬づくりに関する事業

但馬地域内外との交流促進や地域情報の発信等を通じ、交流・移住人口の増加、地域活性化及び観光振興を図るため、次の事業を行った。

1 たじま田舎暮らし推進事業 [県民局委託分]

(1) 移住相談員の配置

「たじま田舎暮らし情報センター」に移住相談員を1名配置し、但馬地域へのU・Iターンを考えている者への移住相談、物件紹介等の移住支援を行った。

(2) 都市部への情報発信

たじまUIターン情報サイト「ひょうご北部で暮らす」を運営するとともに、田舎暮らしのPRイベント・相談会に参加して、但馬地域の田舎暮らしに関する情報を提供した。

① ウェブサイトによる情報発信 (R2.3 末現在)

- ・ユニークアクセスPV数 38,194件 (41,672件) 前年同期比91.7%
- ・ユニークアクセス訪問者数 15,815件 (8,649件) 前年同期比182.9%

② 首都圏及び京阪神でのイベント及び相談会等 (R2.3 末現在)

- ・ふるさと回帰フェア大阪ほか10回、相談件数115件

(3) たじま移住体験オーダーメイドツアーの実施

子育て施設や空き家の見学、地元住民との交流など、移住検討者個々の具体的な要望に応じてきめ細やかに対応できるオーダーメイド型のツアーを実施した。

- ・実施状況 (R2.3 末現在)

実施回数9回、参加者数9組17名 (うち1組養父市に移住)

(4) ひょうご北部移住&仕事フェアの開催

都市部から但馬地域への移住に興味がある方に対し、仕事や住まいの情報をワンストップで提供する移住&しごとフェアを但馬5市町やハローワーク、但馬漁業協同組合、たじま農業協同組合など10団体の出展により開催した。

- ① 実施日 令和元年10月27日(日)

- ② 場所 OMMビル(大阪市)

- ③ 参加者 36組65名



(移住相談コーナー)



(特別セミナー)

(5) 京都府・鳥取県と連携した移住相談事業の実施

社会・経済的に広域的な繋がりのある京都府・鳥取県と共同で移住相談会等を開催した。

- ① 但丹セミナー（京都府との連携事業）
 - ・開催日 令和元年8月3日（土）
 - ・場 所 シティプラザ大阪（大阪市）
 - ・参加者 16組20名
- ② いなば・たじま来楽暮カフェ（鳥取県との連携事業）
 - ・開催日 令和元年10月19日（土）
 - ・場 所 Largo（ラルゴ）（大阪市）
 - ・参加者 4組7名



（但丹セミナー）



（いなば・たじま来楽暮カフェ）

(6) 兵庫県北部合同企業説明会との連携事業

但馬地域の企業が参加する合同企業説明会と連携し、U・Iターンを検討している新卒予定者などを対象に、但馬暮らしについての疑問・悩み相談を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

- ・実施計画日 令和2年3月12日（木）
- ・計画場所 グランフロント大阪（大阪市）

2 但馬四季彩イベント事業

平成6年の「但馬・理想の都の祭典」の開催趣旨を受け継ぎ、但馬地域内外との交流、地域資源の情報発信及び地域活性化を目的に開催される広域的なイベントに対して支援を行った。

(1) 但馬・食文化まつり

- ① 開催日・来場者 令和元年10月6日（日） 21,000人
- ② 助成金額 2,100千円
- ③ 開催場所 イオン和田山店駐車場

(2) 但馬“牛まつり”

令和元年9月22日に兵庫県立但馬牧場公園を実施する予定であったが、台風接近のため、中止となった。

ただし、中止決定がイベント実施の直前であったため、準備及びキャンセルに係る経費（1,443,117円）の支援を行った。

3 地域情報発信事業

(1) ウェブサイト「但馬情報特急」の運営・充実

平成30年度に全面リニューアルして但馬の魅力情報発信を強化した「但馬情報特急」を活用し、但馬に関する最新の情報、魅力ある情報を多分野にわたり収集し、提供した。

- ① ウェブサイトによる情報発信（R1.4～R2.3末現在）
 - ・ユニークアクセスPV数 880,493件
 - ・ユニークアクセス訪問者数 303,010人
- ② 全面リニューアルの効果（旧サイトとの比較）
 - ・モバイルからのアクセス率 57.0%（43.7%）
 - ・SNSからのアクセス数 25,437件（6,952件）

(2) 但馬ツーリズムマップの発行

但馬の多彩な魅力を発信し、交流人口を増やすことを目的に但馬ツーリズムマップを発行した。

また、引き続き広告掲載による発行経費の節減に努めた。

- ① 部数 10,000部
- ② 配布先 JRの各駅、道の駅、宿泊施設、観光施設など

(3) 情報誌「T2」の発行

但馬の魅力を様々な切り口で紹介するとともに、但馬地域内の観光・イベント等の各種情報を発信するため、情報誌を発行した。

- ① 発行時期 年3回〔夏号（6月）、秋冬号（11月）、春号（3月）〕
- ② 発行部数 夏号8万部、秋冬号7.5万部、春号7.5万部
- ③ 仕様 A4判カラー印刷（20ページ）
- ④ 配布先 但馬全戸、但馬ファンクラブ会員、同協賛施設、旅行会社、報道機関など
- ⑤ プレゼント企画
 - ・誌面上で但馬検定ミニクイズを実施。年3回、各50名に但馬の特産品（主に食品）をプレゼント。

4 但馬ファンクラブ事業

但馬の魅力をもPRし、地域内外の住民の交流促進、地域活性化及び観光振興を図るため、但馬ファンクラブを運営するとともにイベント会場などで会員を募集した。

(1) 加入状況

| 区分 | 但馬内 | 但馬外 | | | | 合計 | 1年 会員 | 3年 会員 |
|--------|-----|------------|-------------|-----|-------|-------|----------|----------|
| | | 県内： 但馬除 | 近畿内： 県内除 | 近畿外 | 小計 | | | |
| H31.3末 | 796 | 634 | 306 | 141 | 1,081 | 1,877 | 899 | 978 |
| R2.3末 | 770 | 652 | 311 | 148 | 1,111 | 1,881 | 888 | 993 |
| 増減 | △26 | 18 | 5 | 7 | 30 | △21 | △11 | 15 |

(2) 会員に対する特典の付与

- ① 施設利用（R2.3月末226施設）の割引等が受けられる会員パスポートの発行
- ② 但馬の情報誌等（T2、パンフレット）の送付
- ③ 但馬の特産品プレゼント
年4回、計160名に特産品が当たるプレゼント企画を実施。
・応募者対象2回（応募総数346名）、全会員対象1回実施済
- ④ 但馬のミュージアム招待券配付
但馬内の美術館等で無料入館できる招待券を提供。
・実施期間 4月6日（土）～12月1日（日）
・対象施設 玄武洞ミュージアム、植村直己冒険館ほか6施設
・利用者数 403人

(3) 入会PR事業

各種事業とのコラボレーションにより会員獲得に努めた。

- ① 各種事業との連携によるプレゼント企画
 - ・但馬検定事業との連携
1級、2級合格者への特典 新規加入46名
 - ・播但道路利用キャンペーンとの連携
応募者の中から抽選 新規加入210名
 - ・リピーターの多いマラソン大会との連携
兵庫神鍋高原マラソン全国大会、たたらぎダム湖マラソン大会、みかた残酷マラソン全国大会の参加者の中から抽選 新規加入81名
- ② その他イベントでの勧誘活動等
 - ・但馬まるごと感動市（R元.11.9～10）
 - ・神戸ルミナリエ（R元.12.9）

Ⅲ 会議の開催

公益財団法人但馬ふるさとづくり協会定款の規定により、理事会及び評議員会を開催した。

1 理事会

(1) 第58回理事会

- ・期日 令和元年5月22日(水)
- ・場所 豊岡稽古堂

(2) 第59回理事会

- ・期日 令和元年6月21日(金)
- ・定款第30条第2項の規定に基づく決議省略による決議

(3) 第60回理事会

- ・期日 令和2年2月20日(木)
- ・場所 豊岡稽古堂

2 評議員会

(1) 第20回評議員会

- ・期日 令和元年6月13日(木)
- ・場所 じばさん TAJIMA

(2) 第21回評議員会

- ・期日 令和2年3月10日(火)
- ・場所 じばさん TAJIMA